



まつした 浩 明 松下ひろあき県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉県中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

地域の
安全・安心へ

防犯カメラ設置補助を要望

砂丘整備は新年度完成へ



予算委員会で挙手して発言を求める松下県議

県議2期目ながら、自民党県議会の鉄道問題対策議員連盟の会長を務めるなど、若手のトップランナーと見られている山武市選出の松下浩明(まつした・ひろあき)県議は、2月定例会の予算委員会にも登壇し、防犯カメラの設置補助事業など、地域の安全・安心に向け、市民の視点から質疑を交わしました。震災対策に伴う山武市内の保安林の砂丘整備事業は、新年度には完成する見込みとなり、都内へのアンテナシヨップの設置では、かねてから松下県議が提唱していたプランが実現する運びとなりました。その他の質疑と合わせ、県政報告します。

山武市特集

2月県議会予算委員会での発言

松下委員 県

では、安全・安心日本一の千葉県県づくりを目指し、犯罪の起こりにくい環境づくり施策の一環として、市町村に対して防犯カメラの設置補助を行うっています。が、これまでに防犯カメラの設置補助を行った市町村数と設置台数はどのくらいか。

生活安全課長

市町村に対する防犯カメラの設置補助は、平成23年度から実施していますが、これまでの4年間で16市2町に497台が設置される見込みです。

松下委員 平成27年度は、新たに青色防犯パトロール車、いわゆる青パトへのドライブレコーダーの整備に対する補助が盛り込まれています。私の地元山武地域でも、青パトを見かけることがありますが、県内の青パトの台数はどれくらいか。また、どんな活動をしているのか。

生活安全課長 いわゆる

青パトの台数は、平成26年12月末現在で1331台です。これらの青パトは、市街地のパトロールや児童生徒の登下校時の通学路の巡回を行うほか、犯罪の発生や不審者の出没があった際の重点警戒パトロールなどを行っています。

松下委員 地域を巡回

する青パトにドライブレコーダーを整備していくことですが、その目的は何か。

生活安全課長 いわゆる「動く防犯カメラ」として活用し、街頭犯罪抑止対策の強化を図ろうとするものです。27年度は400台程度の導入を見込んでいます。

津波対策一刻も早く

松下委員 この3月11日で、未曾有の被害をもたらした東日本大震災から4年が経とうとしています。九十九里地域においても、津波による甚大な被害を受けましたが、山武市においては、海岸や河川から侵入した津波が、内陸へ約3キロ地点まで達し、県内では最大となる約9万平方キロの区域が浸水したことから、大きな被害が発生しました。

森林課長 山武市の保安

林内の砂丘ですが、今年度末までに約1.8キロを整備し、来年度残りの0.7キロを整備する予定です。これによって、計画している全区間約2.5キロが完了する見込みです。

地元住民の皆さんは、一刻も早い津波の浸入を防ぐ対策を待ち望んでいます。県は山武地域の津波対策として、保安林の砂丘や河川

何よりも、地元住民の皆さんが安全・安心に生活していくためにも、一刻も早く計画どおりに津波対策を実施されるよう、改めて要望します。

木戸川堤防かさ上げ

松下委員 河川の堤防かさ上げ工事の状況はどうか。

河川整備課長 木戸川の堤防かさ上げ工事は、左右岸合わせて3.6キロ区間で実施することとしており、

昨年度末までに0.7キロが完成し、現在0.6キロ区間の工事を進めているところです。

今後、残る2.3キロ区間についても早期完成に努めてまいります。

お知らせ

松下県議の予算委員会での質疑は、県議会のホームページの「インターネット中継(録画)」で、議員名から再生してすべてご覧になれます。

●山武市や県政に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

松下ひろあき 県議事務所

〒289-1223 山武市埴谷1867-35 TEL-FAX0475-89-0718

■松下ひろあき公式ホームページ <http://www.hiroaki-m.net/>

都内にアンテナショップを開設

松下県議提唱のプラズマ実現

松下委員 これまで数回

にわたって質問してきたアンテナショップについて、今回、1カ月という期間限定ではあります。都内にアンテナショップを設置する予算案が示されました。「都内アンテナショップ設置モデル事業」について、都内で実施することとした理由は何か。

観光企画課長

本県のアンテナショップについては、平成22年度から横浜市内のコンビニエンスストア内に設置し、これまでコンビニ型アンテナショップとして運営して

きたところ。今回、これに加えて、東京都内でモデル事業を実施する理由は、都内には国内外から多くの人が集まり、発信力のあるメディアも集積することから、短期間にさまざまな人々の嗜好やニーズを把握しつつ、千葉の魅力を広くアピールできること、また、

他県のアンテナショップが数多く立地する中で、隣接県である千葉がどう強みを発揮するかを検証する必要があると考えたことによるものです。

松下委員 都内アンテナショップ設置モデル事業の店舗では、どのような取り組みを行うのか。

観光企画課長

今回のモデル事業では、東京に隣接し多彩な観光資源を有する本県の特性を活かし、気軽に行ける観光ツアーの提案や成田空港を擁する本県の国際観光地としての魅力の紹介、新鮮な農水産物の販売など、千葉ならではのPRを、市町村や民間事業者と連携して実施したいと考えております。



2月県議会の予算委員会で質問する松下県議

地方創生にながめる事業を!

要望 山武市は特徴のある酒蔵が4軒もあり、成田空港からも近く、海外からの来訪者も気軽に来て楽しんでいただけると思うので、是非、山武市の酒蔵も積極的にPRしていただくよう要望します。

松下委員

以前、関西空港を視察した際、成田空港から県内観光プランができればいいなと思っていたところ、新年度の夏の観光シーズンに2カ月間、実証運行するということが成田空港と県内観光地を結ぶ高速バス実証運行事業について、事業の狙いをどう考えるのか。

交通計画課長

本事業は、現在成田空港から直行便の出ない南房総地域や銚子地域などへ、

高速バスを試験的に走らせ、空港利用者を県内観光地に呼び込むとともに、県内各地域の魅力を再発見することを目的とした事業です。

松下委員

示された地図を見ると、九十九里、東総地区がコースに入っており、非常に残念です。東総、山武地域がコースから外れ

地方への新しい流れを

松下委員

この事業は、地方創生関連の交付金事業の活用であり、「まちひとしごと」による地方への新しい流れを作る地方創生であり、九十九里、東総地域にとっても大きなチャンスであると私はとらえています。

震災後、復興に努めてきた地域、みんな何と地域を盛り上げようと取り組んでいるところ。そこへ、県として手を差し伸べ、地域の活性化に寄与する事業

た理由は何か。

交通計画課長

今回の路線の検討に当たっては、既存バス路線と競合しないこと、また、高速道路網を活用することを前提として、東日本大震災で減少した観光客が戻っていない地域を可能な限り経由することしたものです。

地元での受け皿づくりがともに進まなくては、地方創生につながらないと思います。県はどう考えるのか。

交通計画課長 現在、沿線の市町等に事業の目的等を説明し、ご意見を伺いながら検討を進めているところで、本事業の実施に当たっては、事業効果が高まるよう、沿線の市町とともに取り組んでまいります。

国勢調査への取り組み

松下委員

日本は、少子高齢化の中、人口減少社会を迎え、大きな転換期に差し掛かっています。千葉県でも、将来的には人口が減少していく状況を避けることは

難しいと考えられます。こうした中、今年実施される国勢調査は、とても重要な意味を持つものといえます。

パソコンやスマートフォンを利用したオンライン調査が導入されることは、利便性の向上や調査員の負担軽減などから意義のあることと考えますが、オンラインによる回答率をどの程度と見込んでいるのか。

統計課長 国は、回答率を20%と見込んでおり、「20%から30%を目標とする」と聞いています。回答率20%では、回答世帯は約1千万に達し、世界最大規模のオンライン調査になると見込まれます。

松下委員 統計調査員を何名程度任命する予定で、どのように確保するのか。

統計課長 概ね3万3千5百人程度と見込んでいます。調査員の確保は、各市町村の役割ですが、希望者を登録する仕組みがあり、この登録調査員に依頼する、広報紙などで公募する、自治会などに推薦依頼することなどで確保していくことにしています。

松下委員 オンライン回答率の向上に向け、どのように取り組むのか。

統計課長 県としては、国のテレビなどによる大規模な広報活動に加え、「県民だより」を通じて各世帯への周知を図るほか、県内各地での横断幕や懸垂幕の掲示、交通広告などにより、きめ細かく県民への周知を図っていきたいと考えています。

要望 国勢調査の円滑な実施に向け、オンライン調査導入についての県民の理解の促進や統計調査員の確保及び資質向上に向けた市町村の取り組みへの支援など、国や市町村と十分に連携を図りながら、県としてしっかりと取り組んでいくよう要望します。